

ファイアーストーム

闇夜にともる炎は、炎自体のもつ暖かさとともに、人にとって安心感・安堵感を与えてくれます。まさに、「心に暖かさを与えてくれる」と言っても過言ではないでしょう。しかし、激しく燃え上がる炎は、動物たちにとって恐怖です。三瓶の自然の中での活動を、人間と他の動物とのお互いを考える機会ととらえ、井桁の組み方を工夫する・小さな炎で実施するなど、可能な限りローインパクトなファイアーストームを実施してみたいかがでしょうか。



活動のねらい・期待される効果

火の大切さとともに、動物や環境に対する関わりを考える。
人間と自然界の関わり方を考える一助とする。

一斉実施可能人数	400人	活動季節・条件	通年(装備により冬季も可)
所要時間	1～2時間	実施場所	営火場、第2営火場
主な対象	幼児～		
指導について	職員が事前に井桁づくりの指導をします。 ファイアーは自主活動を原則としますが、研修指導員に指導を依頼することもできます。 ※研修指導員に指導を依頼した場合は、1部～3部まで全て別紙マニュアルの通りに実施していただきます。進行は、全て研修指導員が行います。 ※指導料については、ガイドブックをご参考ください。		

活動の概略

現在、三瓶青少年交流の家では環境に配慮したローインパクトファイアーを推奨しています。ファイアーの井桁は、1.5時間で丸太4本とオイル缶4杯、2時間で丸太6本とオイル缶6杯までの薪(こわぎ)で井桁を組み、予備用の薪としています。ご協力をお願いします。また、トーチも一人ひとりが持たず、各グループに1本としてはどうでしょう。さらに、丸太を使用せずに、薪(こわぎ)だけで井桁を組み燃え残しをつくらないなど、井桁、トーチを工夫することで、環境にやさしいファイアーストームを実施することができます。また、展開も1部・2部・3部と一般的なパターンから、各グループで火を囲み、日常をふりかえる・夢を語り合うそんなひと時を過ごすのも良いのではないのでしょうか。参加者のつながりがもっと深くなっていくはずですよ。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

放送設備・用具 ・ポータブルライト ・まことの火
ボンファイアー用具(移動可能な火床、かがり火台)

利用者または団体で準備する用具・材料

ファイアーキーパー用手袋(火に強い皮手袋等) スタンツの小道具
着火用具(マッチ等)・着火用新聞紙 営火長の衣装等

事務室または食堂で購入する物

・ファイアーセット(薪10束、灯油2L):4,000円
・トーチ1本:50円

当日の動き

①打合せ	実施場所、事前指導(井桁づくり等)の開始時間や実施に必要な物品の確認をします。 研修指導員に指導を依頼した場合は、実施前に指導員との打合せも行います。
②用具の受け取り 事前指導	井桁づくりや点火準備、片づけの方法を説明したりします。 職員が指導をします。(16:30までをお願いします)
③活動(展開)	自主活動が基本ですが、研修指導員に指導を依頼することもできます。 点火したら事務室に連絡をお願いします。連絡を受けてから消防署に連絡します。
④用具の片づけ	確実な消火をお願いします。消火したら事務室に連絡をお願いします。連絡を受けてから消防署に連絡します。なお、灰の撤去および清掃は、翌朝に行います。

安全対策・環境への留意点

- ・最大瞬間風速が10mを越える場合は、ファイアーストームを実施することができません。
- ・必要以上の炎とならないように井桁を組むとともに、火の調整を行い、薪の利用を最小限としてください。
- ・風による火の粉の拡散に注意し、眼への障害や衣服への着火等に十分注意してください。
- ・ファイアーロード、火文字、特別な着火をする場合は、周囲の安全・環境に充分配慮してください。
- ・第2営火場を使用する場合は、安全管理上、トーチの数を最大でも50本までにしてください。

備考

- ・事務室から購入したトーチは再利用しますので、燃やさないで下さい。
- ・トーチ、ファイアーロード用品等を持ち込まれた場合は、材料を残さず全てお持ち帰り下さい。
- ・研修指導員に指導を依頼した場合は、1部～3部まで全て別紙マニュアルの通りに実施していただきます。進行は、全て研修指導員が行います。
- ・参加者全員で大きな輪をつくる場合、営火場は1重円で約100人。第2営火場は1重円で約50人となります。
- ・実施要項等の資料が必要な場合は、直接ご連絡下さい。